平成 23 年度　第６回　天草地域自立支援協議会　定例会報告

１．日　時：平成 23 年 11 月 17 日(木)　10 時 00 分～11 時 40 分
２．場　所：天草地域振興局２階テレビ会議室
　　出席者：かしの木学園（岡野）、のぞみ作業所（小畑）、ぴゅあ（松本）、
　　星光園（高橋）、グリーン（荒木）、本渡通勤寮（坂本）、上天草市（佐々木）、天草市（大西、池田）
３．内　容：
議題
（１）天草地域自立支援協議会　定例会について
〇資料１，２ページで説明（池田）
今回は、就労継続支援Ｂ型の事業所に集まっていただき日頃の支援の中の課題等をそれぞれ出し合って情報の共有を図る。

（２）個別のケースについて
〇それぞれの事業所の現状について報告
・ぴゅあ…・Ｈ２２年４月からＢ型を始めて利用者は知的の方を中心に実施（精神２人）
・利用者数は入れ替わりもあり去年と変わらない。
・作業内容も慣れてきて、効率が上がってきている。
・販売先も増えてきている。
・利用者の中にはできない作業もあり他の軽作業を探している。

・のぞみ…・利用者数は変わらない。（知的の方がほとんど、精神を持っている方もいる）
・昨年の 10 月から今年の９月まで緊急雇用対策で職員を２人入れて車での移動販売を実施していたが 10 月以降は２人減になり人手が足りない。
・年末に向け門松の作成・販売を実施。
・製品の質を落とさない様に気を付けている。
・かしの木…利用者の出席率８０～９０％（長期休みの方等）
・作業的に減ってきている。

全体での情報交換
送迎について
・送迎、バスセンター・港から施設までマイクロバスで送迎を行っている。（かしの木）
・送迎はしていない。自分で来る方、親が送っている方など（のぞみ）
・自分で来られる方、５人はバスセンターへ送迎をしている（ぴゅあ）
自宅等での過ごし方について（生活面での支援等）

・余暇の過ごし方が無い方が多い。（ビデオ・音楽鑑賞ぐらい）金銭管理ができない方。衛生面での管理ができていない方。（親の言うことも聞かない）個々の生活力をはかるのは難しい。…のぞみ

・話を聞くと、買い物に行ったり、料理をしたりしている方もいる。（かしの木）

・全員に販売に行って、お金の計算等をさせている。（ぴゅあ）

日中の活動について

・日中は作業のみ（ぴゅあ、のぞみ）月１回お楽しみ会、年１回旅行に行っている（のぞみ）

・１日のスケジュールを決めている（学校の様に）

授産事業について

・去年から比べると落ちている。（かしの木）

・スタッフが減ったので落ちている。イベントの販売も落ちている。アルミの価格が変動するので影響する。（のぞみ）

・販売先が増え伸びているが、材料代（小麦、乳製品）が上がってくるので心配。（ぴゅあ）

・学校の統廃合で販売先が減ってくる。

・店舗を持っている事業所で他の施設の製品を展示販売する。（ぴゅあ）苓南寮の陶磁器、やじろべえの雑巾など結構売れる。

その他

・インフルエンザ対策で毎日手すり、ドアノブ、廊下等を消毒している。（かしの木）

・事業所でまとめて予防接種を受けさせている。（のぞみ）

・利用者の中で単身で生活している方、のぞみ（２人）、ぴゅあ（１人）

・保護者も７０才以上の方が増えてきている。グループホームの話が理事会等で出ている。（かしの木）

（３）その他

事務局から

ユメールからの展示販売の案内について、授産製品のカタログについて状況報告。